

## 安全安心な河川や海域へ

## 環境汚染モニタリング調査結果を公表

平成30年7月の豪雨により、土砂災害及び浸水被害が広範囲で発生し、流出した廃棄物や工場・事業場からの有害物質の漏えいなどに起因する環境汚染が懸念されました。

このため、広島県では、河川や海域などの公共用水域の環境汚染の状況を確認するとともに、その結果を公表することを目的として、平

成30年7月から8月にかけて、緊急に水質調査を実施しました。

たもののは、有害物質の流出はなく、環境への影響はなかったことを確認しました。

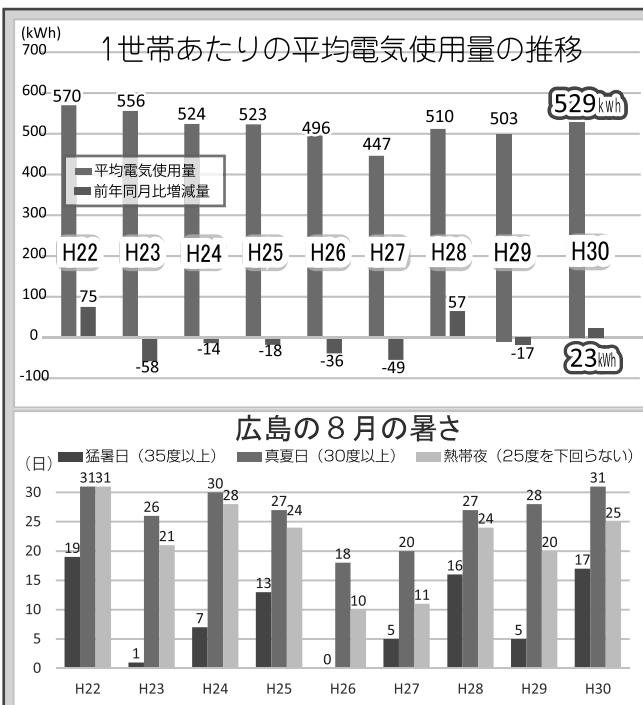
広島県では、これからも今回のような災害時には、迅速かつ的確な対応を実施するとともに、住民の方々の安全安心につながる情報を発信していくたいと考えています。

廣島県では河内町（現在・東広島市）・熊野町・大崎町（現在・大崎上島町）で震度6弱、吳市・三原市などで震度5強を観測したほか、関東・東海・中国・四国・九州地方の広い地域で震度5強～1を観測しました（左下図）。

広島県

項目)について調査しました。その結果、健康項目は全ての地点で環境基準に基づく環境基準に適合しており、生活環境項目についても、水質が平常時と大きく変化している地点はなく、問題ありませんでした。調査結果については、結果が判明したものから広島県のホームページ(上図を参照)で順次公表しました。

また、工場・事業場からの有害物質の漏えいによる環境への影響の有無を確認するため、有害物質を使用す



## 平成22年に比べ省エネ進む

# 一万人のエコチェック事業報生

平成30年度の「1万人の工」チェック事業は、三千461枚の力

一ドを報告いただきました。そのうち、公衛協推進委員は、三千二百七十人という結果でした。

の豪雨災害があつた年に次ぐ暑さであつたことがわかりました。

40kWh以下、猛量割に低い結果から、の事業を進めていく上で推進委員の省エネ意識の向上と、各家電化製品の省エネ性能の向上により、使用

が下がっているもの  
推測されます。



廣島県では河内町（現在・東広島市）・熊野町・大崎町（現在・大崎上島町）で震度6弱、呉市・三原市などで震度5強を観測しました。ほか、関東・東海・中国・信越・北陸・近畿・中国・四国・九州地方の広い地域で震度5強～6弱を観測しました（左下図参照）。

状化現象も見られた。特に急傾斜地街地が広がる吳は、死者一人、負傷者78人、住家全壊58戸、半壊261棟、一塁損1万3千35棟、民家の敷地を支え盤の擁壁の崩れやなどが生じて被害が大きなりました。安芸灘周辺で

に市で市で傷者、55棟、部破壊で、物の耐震補強、家具固定、水や食料等の蓄え、避難場所・避難路の再確認をお願いします。

（出典：総務省消防庁）